

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	黒澤和生
担当業務	4 年制大学化推進部会は、毎月部会を開催した。 10 月は大学化や 4 年間教育化による需給変動や養成校に与える影響等を検討し、他の団体の反対意見が予測される場合、理論的な裏付けについての意見交換をおこなった。 また、<u>第 4 回</u>では、国際化に向けた 4 年制大学化推進事業の検討をおこなった。

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10 月 7 日(土)	○	第 7 回理事会、第 3 会理事懇談会	PT 協会
10 月 8 日(日)		組織運営協議会	PT 協会
10 月 26 日(木)		第 6 回 JD 政策委員会	web
10 月 23 日(月)		第 3 回 4 年制大学化推進部会	web
10 月 31 日(火)		第 4 回業務執行理事会	web
11 月 10 日(金)	○	第 45 回総合リハビリテーション研究大会	対面(戸山サライズ)
11 月 11 日(土)	○	第 45 回総合リハビリテーション研究大会	対面(戸山サライズ)
11 月 13 日(月)		第 4 回 4 年制大学化推進部会	web
11 月 19 日(日)		第 5 回業務執行理事会・中間監査	PT 協会
所感	① 優生保護法問題関連（藤井代表:日本障害者協議会） ○この問題は、最高裁大法廷での取り扱いとなった。ポイントは、①除斥期間、②分かれた高裁の判決・見解、③社会の関心度。弁護団は、2～3 月通知→5～6 月口頭弁論→8 月までに結論と予測する。 ○全面解決、政治決着に向け、優生連は 100 万人署名に取り組む。JD は 10 万人を宣言している。		
報告日	2024 年 1 月 12 日		

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。